ボッチャ Boccia

ボッチャとはヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。先攻の人がジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールを投げ、赤・青のそれぞれ６球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。投げ方は障害の程度によって二種類あります。器具を使わず手で転がすやり方と、ランプと言われる器具を使い、リリーサーと言われる棒を口にくわえたりヘッドギアに装着したりしてボールを押して転がすやり方です。自分の意思を介助者に伝えることができれば参加できます。競技は男女の区別のないクラスに別れて行われ、個人戦と団体戦（２対２のペア戦と３対３のチーム戦）があります。

当院のスタッフは最近ボッチャを始めた患者様の介助者をさせていただいています。実際やってみるとルールがとても細かく、すごく難しい競技だと思いました。試合中は選手と介助者が話したり意思疎通を図ってはいけないというルールがあります。また他にも驚くようなルールもあり、覚えるのも大変です。

今後もボッチャを通し、たくさんの出会いやたくさんの発見をしていきたいと思いました。みなさんもぜひボッチャという競技を観て下さい！！ 2020年のパラリンピックをみんなで応援しましょう！！

看護師だより

今回ご紹介させていただく方は、クリニック最高齢であり、三重県の男性ご長寿 NO.1 の H さんです。

訪問させていただくようになったのはまだ最近ですが、アイスやプリンを食べられたり、手すりを持って歩くこともできるそうです。今回伺ったときは、今まで経験された貴重なお話を、たくさん聞かせて下さいました。

定年まで中部電力で勤められ、その後も特殊な資格をお持ちだったので、いろいろなところの仕事を手伝ってこられたそうです。定年後は菰野に移り住み、旅行好きだった H さんはオートバイで日本中を周る計画を立てたこともあったそうです。

現在は鉄道の DVD やテレビを見たり、新聞を読んだりして過ごされています。読書も好きな H さんの愛読書は、ゴルゴ 13。なんと、全巻お持ちだそうです。

H さんに長生きの秘訣を聞いてみました。「無理をしない」こと、「迷惑をかけない」こと。そして、今の若い人に言いたいことは、「技術を身につけろ」だそうです。長い時間を生きてこられた H さんの言葉はとても重みがあります。

これからも娘さんと仲良くお元気にお過ごし下さい。

はじめまして

New Staff

チーム ZAITAKU の「新メンバー」を紹介します。

岡田　郁美
おかだ　いくみ

出身地
鈴鹿市

好きな食べ物
チョコレート 甘いものが好きです

趣味
旅行・神社仏閣巡り

夢
愛犬とサイドカー付き
バイクで旅行へ行く

心構え・目標
安心してご自宅で過ごしていただけるよう早く仕事に慣れてチームメンバーと共にサポートさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。

第８回全国在宅医療テスト

10月１日、医療法人ゆうの森様が年１回主催されている全国在宅医療テスト（クリニックではたんぽぽテストと呼んでいます）を医師、看護師、ケアマネジャー、事務の希望者で受験しました。在宅医療に携わる一員として複雑な制度の理解を深め、それは結果として患者さん・ご家族の安心につながるという思いで受験に臨みました。結果は・・・。

受験者数　1723名（通常版1330名、ビギナー版393名）
参加団体　156団体　通常版平均点 45.5点

【個人成績】　優秀者表彰
全国　２位　　97点　石賀比奈子
全国 25位　　86点　大塚由香里

【団体成績】
全国 15位

ケアマネだより

Nさんは 2004年2月、仕事中の交通事故による頸髄損傷のため、首から下が不自由になり寝たきりの生活を送る事になりました。

65歳でアマチュア無線２級、67歳で１級を取得され、国内無線通信を日々楽しんでおられます。他に、習字を書いたり、韓国語を勉強したり、モールス符号の練習もされています。

事故から14年の年月が過ぎ、現在ではモールス信号を手のひらで打つことが出来るまでに回復されています。

ポジティブで笑顔の素敵なNさん。今年は何に挑戦されるのかお話を伺うのがとても楽しみです。